

## 平成28年度 ひまわりパークつぼみ事業報告

平成28年度は、前年度休止していた就労継続支援A型事業では、「福岡市こども総合相談センター」の清掃業務の受託に加えて、「福岡市動物園」の業務委託においては、予定事業者の業務受託の辞退により、急遽、当事業所での行うこととなりました。これにより利用者に就労の機会を提供するとともに、その知識及び能力の向上のために必要な訓練等を適切かつ効果的に行いました。

平成26年度から就労継続支援A型の利用定員は、10人から15人へ増員を図りましたが、今年度は事業所全体の毎月の利用者数は10人で推移しました。

また、生活訓練（自立）では6月から1人入所され、3人（定員6人）で事業を活動しました。

つぼみの利用者は、つぼみ(福浜)、動物園（施設外就労A型）、こども総合相談センター（施設外就労A型）と活動の場所が分かれており、休日等もそれぞれ異なるため、利用者間の交流等が難しかったため、工夫が必要と思いました。

なお、老朽化に伴う当事業所の移転につきましては、条件に見合う物件がなく苦慮しているところです。

利用者の状況や各種の事業活動は次のとおりです。

### 1 利用者の状況

平成29年3月31日現在

項目	内容
実利用人員／定員	26人／35人
男女別	男性18人、女性8人
平均年齢	43.6歳

### 2 事業別の利用者数及び職員数

平成29年3月31日現在（単位；人）

事業名	定員	利用者数			支援員数
		男性	女性	合計	
就労継続A型	15	7	3	10	3
就労継続B型	14	9	4	13	4※
生活訓練(自立)	6	2	1	3	1
合計	35	18	8	26	8

備考 上記の職員のほか管理者1人、サービス管理責任者1人及び事務(パート)1人を配置。

※また、就労継続B型4人の内1人は就労継続A型を兼務

### 3 主な事業の取り組み

#### (1) 就労継続支援A型事業

利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、雇用して就労する機会の提供とともに、作業を通して知識や働く能力等の向上に向けて支援等を行いました。

A型事業は、平成26年度から定員を10人から15人に増員しましたが、現員10人で活動しました。今年度は福岡市こども総合相談センターの清掃のほか、動物園の園路等清掃を受託して就労継続支援A型事業を再開し、施設外就労の活動の場所が増えました。

利用者の賃金は受託事業によって支払われており、各利用者は就労の場としての自覚や意識及び就労への意欲が随所に見受けられました。

なお、福岡市動物園及び福岡市こども総合相談センターの清掃業務は当法人が殆ど受託し、多くの障がい者が就労の機会を得て幅広い作業体験を積むことができましたが、平成29年度の福岡市動物園及び福岡市こども総合相談センターの清掃業務は、当法人（事業所）では契約ができず平成29年度からは、当事業所の就労継続支援A型事業を休止するという大変残念な結果となりました。

#### (2) 就労継続支援B型事業

利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、就労する機会の提供とともに、作業を通して知識や働く意識等の向上に向けて支援等を行いました。

生産活動は、従来どおりのお菓子の箱折りが中心でしたが、利用者一人ひとりの状況や特性に応じて作業を行いました。箱折り作業は、1月・2月は閑散時期のため、灯明づくりやチラシ等の封入・封かんなどにも取り組みました。

また、ボランティアの皆さんが繁忙期を中心に年間を通して協力いただき、作業の支援とともに休憩時の会話など和やかな職場づくりに貢献いただきました。

また、夏期時において、新規に博物館の正面芝生広場の除草作業を受託しました。

なお、中央区内の公民館清掃（14館）や市郵便物の配送業務委託を育成会が共同受注を行い、当事業所でも受託し工賃増に取り組みました。（月額平均工賃額；9,500円（前年度平均工賃より2,183円増））

なお、より一層の受託拡大と工賃向上を福岡県工賃レベル（平成27年度；13,485円）で進めていくことを目的とし、今後とも工賃向上に向けて取り組んで参ります。

### (3) 自立訓練(生活訓練)事業

利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、利用者個々の支援計画に基づき、買物、調理、軽作業などの訓練、余暇活動を通じて社会的マナーを学ぶことなどの様々な訓練に取り組みを行いました。現員3人(定員6人)の内、有期限の利用者が2人おり、また次年度に向けて新たな希望者がいなかったため、事業の継続が運営上困難となりました。

については、平成29年度は事業を休止することとなりました。

なお、利用中の3人の進路については、本人及び保護者の方の意見等を踏まえ、希望に添えるよう対応したところです。今後は、事業のあり方について、事業所の移転と併せて検討していきたいと考えます。

### (4) 施設行事

利用者間の交流を深め、行事を通して社会生活の経験を豊かにするために、人生の節目のお祝いとして、利用者の還暦のお祝いや成人の日の式典を利用者及び職員でお祝いすることができました。また、博物館での催し物の見学にも行きました。

### (5) 余暇支援

余暇支援は休日を充実し、また体験することで生活の質の向上を図る目的で実施しました。利用者からの意見等を参考にして参加しやすい活動を取り入れ、またボランティアの応援を受け、年間19回延べ142人の参加がありました。

今年度も、定番のカラオケやボウリング、調理体験のほかに福岡のオープントップバスに乗り市内の主要観光スポットを周遊し、福岡の自然や風を感じながら普段とは異なる福岡の街並みを味わうことができました。

今後とも、利用者等のニーズを踏まえ生活の向上につながる企画に取り組んで参ります。

### (6) 安全対策

災害や事故等不測の事態に対し、できる限り適切な対応ができるように、事業所において地震・火災発生への避難訓練を、年3回実施しました。

市中央消防署による立入検査が1月24日に行われましたが、査察の結果、消防用設備等の法定点検の実施について、指摘事項の通知(3月8日査察結果通知票)がありましたので、3月28日に専門業者による法定点検を行いました。また、消防署職員による心肺蘇生やAEDの取り扱い及び外傷の応急手当に関する講習会を当事業所で行いました。今後とも、利用者の安心・安全を第一に考え、不測の事態に備えた訓練等を定期的かつ効果的に取り組んでいきます。

#### (7) 健康支援

毎月の血圧・脈拍等のチェックや手洗い・うがい等の励行によって日常の健康管理に努めるほか、結核予防のレントゲン検査を就労継続支援B型・自立訓練利用者は集団で受診し、結核予防に取り組みました。

また、40歳以上の利用者を対象に糖尿病などの生活習慣病を予防するための「よかドック（特定健診）」を地域の医療機関で受診しました。

なお、就労継続支援A型事業利用者は事業所として健康診断を受診し、健康管理に努めました。

#### (8) 苦情解決

利用者との契約時に当事業所のサービスに関する相談や苦情について相談窓口や解決窓口等の説明を行うとともに、日頃からの利用者、保護者等からの相談に対して事業所として課題の共有や改善に努めてきました。

今年度は、施設等に関する苦情はございませんでした。今後ともより相談しやすい窓口等に向けて職員一同取り組んで参ります。

#### (9) 職員研修の取り組みと実習生の積極的な受け入れ

利用者・保護者からの信頼確保や支援の充実には職員一人ひとりの質の向上がますます重要となっています。そのため法人内の基本的研修や虐待防止に関する研修に積極的に取り組んできました。このほか、福岡県社会福祉協議会、あるいは市・区役所等が主催する担当業務に応じた専門研修などに研修に参加しました。

また、今年度は大学生の実習生(介護等体験)を、10人述べ50日間の受入れを行いました。実習生への指導が職員自身にとっても学びの機会となり職員質の向上にもつながったと思われまます。

### 4 地域交流

#### (1) 定期的な地域清掃への取り組み

毎月計画的に地域清掃日を設け、利用者と一緒に自主的に事業所周辺のゴミ拾いや空き缶拾いなどの清掃活動を実施し、地域の美化環境に取り組みました。

#### (2) 小学校等との交流

地域の小学校において障がい者の就労や日常生活を学ぶ学習のため事業所から小学4年生に対し利用者の仕事や活動などの講話を行いました。小学生の熱心な学習によって当事業所利用者の生産活動等の理解につながったと思われまます。今後とも、地域との交流を図るため小学校等との交流は積極的に取り組んでいく必要があります。また、近隣にある短期大学（社会福祉学科）の学

生を随時受入し、利用者と一緒に作業を行い作業体験等を通して利用者（障がい者）とのコミュニケーション能力を身につけていただいています。

## **5 高齢化対策**

利用者及び保護者の高齢化等もありグループホームに対する関心が高いことから、障がい者の高齢化問題は重要な課題です。

なお、同法人内の平成29年6月に開設予定の高齢知的障がい者を対象としたグループホームに、当事業所から2人の利用者の入居が決定しました。今後とも、親亡き後の暮らしの場の体験や、成年後見制度等の啓発に取り組んで参ります。